



国立美術館への遺贈について

2019年

独立行政法人国立美術館

○ はじめに

国立美術館は、以下の6つの美術館を設置し、国内外の優れた美術作品4万点以上を所蔵、常設展示や企画展示を通して、6館で年間400万人以上の方をお迎えしています。

1. 東京国立近代美術館 本館・工芸館(東京・北の丸公園) * 工芸館は2020年、石川県金沢市に移転予定
2. 京都国立近代美術館(京都・岡崎公園)
3. 国立西洋美術館(東京・上野公園)
4. 国立国際美術館(大阪・中之島)
5. 国立新美術館(東京・六本木)
6. 国立映画アーカイブ(東京・京橋)

○ 国立美術館の活動

ー 文化を紡ぎ、育んでいくこと ー

文化を通してより豊かな社会を実現することを目指して私たちは様々な活動を行っています。

国立美術館では、毎年多くの特色豊かな展覧会を企画・開催していますが、展覧会のように直接皆さまの目に触れるものの裏側では、作品の調査・研究事業や修復作業、資料の収集といった地道な作業を重ねています。このように、皆さまに楽しんでいただけるような展覧会は、研究員たちにより数年にわたる長い時間をかけて作り上げられていくのです。

また、美術館や展覧会に関連したイベントの開催や、ギャラリートーク、対話鑑賞、ワークショップなどの教育普及も私たちの大切な活動のひとつです。創造力あふれる子どもたちから大人まで、全ての世代が美術に親しみ、楽しんでくださるようなプログラムをご用意し、美術と人をつなぐ役割を果たしています。

さらに、来館者の皆さまにより良い観覧環境を提供できるよう、建物や施設、設備の維持管理、改修なども定期的に行っています。また、外国人来館者へのサービス向上を図るため、館内掲示や作品解説の多言語化などにも取り組んでいます。

近年のグローバル化、地方創生などの実現に向け、国立美術館が担う役割も、従来の機能に加え、社会的役割を視野に入れた活動へと変容しています。こうした流れの中で、より一層充実した活動を展開し、貴重なナショナルコレクションを後世に伝え、さらには日本の文化・芸術の価値を積極的に国外に発信していくためには、自助努力はもちろんのことですが、皆さまからのご支援が必要です。

皆さまの想いを文化・芸術の多様な価値を活かした社会の実現と、すべての子どもたちが美術に当たり前に触れることができる豊かな未来の創造につなげていきませんか。

○ 国立美術館への遺贈について

独立行政法人国立美術館では、オンライン寄附サイト、ゆうちょ銀行からのご寄附に加え、遺贈を受け付けております。遺贈をご希望される方は、国立美術館の寄附・遺贈担当に、メールまたはお電話でご連絡いただくか、提携金融機関の遺贈担当に直接ご連絡いただくことができます。

遺贈先のご希望や、条件などがございましたら、可能な限り、ご意思を尊重する形でお受けいたします。

美術館や事業を指定した遺贈も可能です。

<美術館>

1. 東京国立近代美術館
2. 京都国立近代美術館
3. 国立西洋美術館
4. 国立国際美術館
5. 国立新美術館
6. 国立映画アーカイブ
7. 国立美術館全体(館を指定しない)

<事業>

1. 展覧会・上映会
2. 調査・研究
3. 所蔵作品・フィルムの修復
4. 教育普及
5. 建物・設備の整備
6. 情報・資料の収集等
7. 活動全体(事業を指定しない)



○ 遺贈に関するお問い合わせ先

独立行政法人国立美術館

本部事務局 寄附・遺贈担当

住所：〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1

E-mail： kifu@momat.go.jp

電話： 03-3214-2619（担当直通番号）

（土・日・祝日、年末年始を除く 9:30～18:00）

提携金融機関（2019年10月現在）

株式会社 三井住友銀行

相続アドバイザー部

電話： 0120-338-518（平日9時～17時）